

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択科目)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
キャリア教育Ⅰ、キャリア教育Ⅱ、保育士養成課程科目、教職課程科目（幼稚園教諭二種）				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
子育て支援プロジェクト				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
田村田・岡泉志のぶ・高橋登美子	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
キャリア演習Ⅰに引き続き、本授業では、社会人になってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、社会で活躍する際に必要な即応力やコミュニケーション能力などの資質向上を目指す。この演習を通じ、学生自らが保育者として必要な専門的知識や技術の必要性を考え、自己実現に向けた専門性の習得を図るとともに実践に繋げられるようにする。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥保育者としての自覚を持ち、専門的スキルを身につける。				
授業の方法				
保育士養成課程の各クラスを主として、クラス担任が出欠、成績管理を行う。外部講師の講話の他、講義を含めた全体での演習では、アクティヴ・ラーニングやプレゼンテーション等、能動的な学習方法を取り入れる。また、保育者としての専門性、資質向上を目指し、自己実現に向けた計画を立て、実践できる力を身につけられるようにする。毎回日直を配置して、授業前に担当教員の指示を受ける。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)問題解決のために、個人および集団のスキルを活用することができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 授業概要と評価に関する説明（全体45分：クラス指導45分）			
第2回目	保育行事体験Ⅰ			
第3回目	外部講師の講話 ー現場で活躍する保育者の講話ー（全体90分）		【レポート課題：10点配点】	
第4回目	学校行事に向けてⅠ			
第5回目	学校行事に向けてⅡ			
第6回目	保育士申請について			

第7回目	コミュニケーションと保育者の仕事Ⅰ	
第8回目	コミュニケーションと保育者の仕事Ⅱ	
第9回目	コミュニケーションと保育者の仕事Ⅲ	
第10回目	外部講師の講話　ー現場で活躍する保育者の講話ー（全体90分）	【レポート課題：10点配点】
第11回目	保育行事体験Ⅱ	
第12回目	保育者たちの課題と解決ワークショップ	【レポート課題：10点配点】
第13回目	幼稚園教諭二種免許状申請Ⅰ（全体90分）	
第14回目	幼稚園教諭二種免許状申請Ⅱ（全体90分）	
第15回目	私のキャリアプランニングと自己実現に向けて（全体90分）	【レポート課題：10点配点】
事前・事後学習	毎日日直を配置し、担当教員の指示を受ける。レポート課題については、事後学習が必要となる。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	ディスカッション時の積極的な姿勢、講話や他グループの発表時における授業態度を評価する。
レポート	40%	各回の主題に応じたレポートを提出して評価する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	日直業務・発表内容・態度を各教員で採点する（合計30点配点）。
その他		
教科書と参考図書		
参考資料は適宜指示、配布等をする。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己実現に向けて授業に臨むこと。マナーを守り、課題を必ず提出すること。日直は（全員揃って）授業前に担当教員の指示を受ける。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(栄養士) (卒業研究) Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
穂積 元・藤田 睦		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥栄養士の資格を目指す学生として幅広い基本知識を習得することができるようにする。 ⑦栄養士の資格を目指す学生として、コミュニケーション能力を養い状況判断ができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)栄養士としての実践力を養うことができる。 (5)課題に取れ組むことを通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	合同セミナー 講義ガイダンス（卒業研究に向けて）			
第2回目	研究にあたっての資料の集め方			
第3回目	中間報告①			
第4回目	中間報告②			
第5回目	資料集め、個別相談①			
第6回目	資料集め、個別相談②			

第7回目	資料集め、個別相談③	
第8回目	発表原稿作成①	
第9回目	発表原稿作成②	
第10回目	発表原稿作成③	
第11回目	研究発表①	
第12回目	研究発表②	
第13回目	研究発表③	
第14回目	抄録集作成（A4用紙1枚にまとめる）	
第15回目	抄録集作成、まとめ、なお、第16回目は研究発表と抄録集提出の予備日とする。	
事前・事後学習	研究にあたっての資料収集を図書館等で行う。発表原稿の作成を授業以外でも空き時間を利用して行う。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	発表者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。テーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	10%	中間報告の内容をレポートにまとめ提出する。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書	10%	抄録集の作成（A4用紙に要点をしっかりとまとめている場合には10点、書き方については授業の中で説明する。）
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	60%	卒業研究として各テーマでの調べ学習について意見をしっかりとまとめている。発表媒体をわかりやすく作成し卒業研究にふさわしいプレゼンテーションができる。
その他		
教科書と参考図書		
参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（介護福祉士） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（介護福祉士養成課程 必修）	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護総合演習Ⅴ、介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
和田 晴美、他		福祉棟2F	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	国家試験に向けた対策・準備①			
第3回目	国家試験に向けた対策・準備②＜小テスト①＞ ＊課題① 模擬問題の実施			
第4回目	事例研究のまとめ①			
第5回目	事例研究のまとめ②			
第6回目	国家試験に向けた対策・準備③＜小テスト②＞			

第7回目	国家試験に向けた対策・準備④		
第8回目	キャリア講演会①（卒業生）	*課題② 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第9回目	キャリア講演会②（施設長・人事担当者）	*課題③ 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第10回目	国家試験に向けた対策・準備⑤（学力評価試験）		
第11回目	国家試験に向けた対策・準備⑥		
第12回目	事例研究のまとめ③		
第13回目	自己啓発について（担当：大熊）	*課題④ 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第14回目	国家試験に向けた対策・準備⑦		
第15回目	まとめ / 国家試験に向けた対策・準備⑧		
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。特に国家試験対策では、正誤の確認だけでなく、その根拠をテキストや参考書を使い調べること。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。
レポート		40%	10点満点のレポート課題を4つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書			
小テスト		30%	第3回目、第6回目の授業で、国家試験に準じた内容の小テストを実施する。実施後、答え合わせと解説を行う。
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
平成30年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等を使用する。			
履修上の留意点・ルール			
●実務経験 和田（職種：看護師、職歴：通算10年）、学外講師（福祉施設の業務に携わる実務者） 進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習 II (医療事務・メンタルヘルス) Career Seminar II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(卒業研究)	医療事務・メンタルヘルスフィールド
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療事務ユニット、医師事務作業補助ユニットの科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療事務ユニット、医師事務作業補助ユニットの科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
戸井田 睦美・小竹 仁美		本館2階・講義棟3階	月・火・木・金の9時から16時（授業時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現に向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割、責任を理解し、心構えを持てるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し、社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥医療秘書としての役割と必要性について理解し、行動できるようにする。 ⑦専門職として職場でのコミュニケーション能力を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)医療秘書としての知識を身につけることができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 医療秘書とは (戸井田)			
第2回目	医療秘書の役割と必要性 (戸井田)			
第3回目	医療機関の組織と理解	グループワーク I	(戸井田・小竹)	
第4回目	基礎薬理 ① (戸井田)			
第5回目	基礎薬理 ②	小テスト I	(戸井田)	
第6回目	臨床薬理 ①	グループワーク II	(戸井田・小竹)	

第7回目	臨床薬理 ②			小テスト II	(戸井田)
第8回目	ケースワーク I				(戸井田)
第9回目	ケースワーク II			グループワークⅢ	(戸井田・小竹)
第10回目	ケースワーク III			*レポート (提出日は授業内で指示)	(戸井田)
第11回目	傾向と対策 1				(戸井田)
第12回目	傾向と対策 2			グループワークⅣ	(戸井田・小竹)
第13回目	傾向と対策 3				(戸井田)
第14回目	傾向と対策 4			小テスト III	(戸井田)
第15回目	傾向と対策のまとめ			グループワークⅤ *レポート (提出日は授業内で指示)	(戸井田・小竹)
事前・事後学習	基礎薬理や臨床薬理の作用・副作用等を理解し、わからないことはそのままにせず、ITや図書館を活用して、次回までに調べる事。				
成績評価の方法と基準					
評価の領域		割合	評価の基準		
授業参加態度		30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。		
レポート		40%	課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。		
調査報告書					
小テスト		30%	3回の小テストを行い、理解度を図る。		
試験					
発表内容 (態度含む)					
その他					
教科書と参考図書					
医療秘書検定 2 級問題集、診療報酬点数早見表					
履修上の留意点・ルール					
●実務経験 (戸井田) (職種:病院事務、職歴: 通算8年) 積極的に参加し、マナーを守り自分で考え、課題を必ず提出すること。					

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(観光ホスピタリティ) Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
長江 庸泰		本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術・望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観・役割・責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果(学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用(毎回のレポート課題として行う)、キャリアデザイン(履修計画)再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別ワーク)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別ワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動のながれ。
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）。
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返りー 発表。
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてまとめ。
事前・事後学習	事前：進路活動状況につき、授業内で課題を共有出来るよう準備すること。 事後：授業内で共有された進路活動状況を、自らの進路活動に活かせるよう努力すること。
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	30% 講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70% 進路活動報告、新聞の活用 各5点をそれぞれ7つ以上、進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書	
小テスト	
試験	
発表内容（態度含む）	
その他	
教科書と参考図書	
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。	
履修上の留意点・ルール	
●実務経験（職種：会社役員、職歴：通算39年） 本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自主創造の精神に基づく課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。	

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（社会福祉士・卒業研究） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士フィールド 必修)	社会福祉士フィールド2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
吉田 志保、他		福祉棟3F	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	研究ノートの書き方			
第3回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第4回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第5回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第6回目	研究ノートのための情報収集 *課題① 研究計画			

第7回目	研究ノート作成	
第8回目	キャリア講演会① 卒業生	*課題② 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第9回目	キャリア講演会② 施設長・人事担当者	*課題③ 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第10回目	研究ノート	
第11回目	研究ノート	*課題④ オレンジリボン運動 感想レポート
第12回目	社会常識（ご案内の仕方、名刺の渡し方、お茶の入れ方等）*課題⑤ 感想レポート	
第13回目	自己啓発について	*課題⑥ 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第14回目	研究ノート	
第15回目	まとめ / 研究ノート	*課題⑦ 研究ノート
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。 普段から挨拶や言葉づかい、態度、書類の書き方等に気をつけること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。
レポート	70%	10点満点のレポート課題を7つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
平成29年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等を使用する。		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験吉田（事務、介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、職歴：14年）（学外講師（実習先の業務に携わる実務者）施設長、人事担当者）・進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は速やかに届け出を提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ Career Practicum Ⅱ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
加藤 遼子		講義棟3階	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つような基礎的知識や態度を身に着け、自己を生かす職業に就くために必要となる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業にかかわる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、無家いるのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役に立つような基礎的な知識や態度を身に着けることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的にかかわるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するように心がける。				
学習の成果（学習成果）				
①自己の職業生活を設計できる。 ②自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 ③職場環境に適応し、そこでの問題を書行けるするための活路を見出すことができる。 以上により、就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用、キャリアデザイン（履修計画）再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる（個別ワーク）			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動についての発表用資料を作成する①業界について			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動についての発表用資料を作成する②職種について			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動についての発表用資料を作成する③会社の沿革と経営理念			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表（個別ワーク）			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表資料を作成する④就職活動のながれ	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える②（個別・グループワーク）	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表資料を作成する⑤就職活動に必要な準備	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表資料を作成する⑥後輩へのアドバイス	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動についての発表①　グループA	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動についての発表①　グループB	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返り　発表	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、キャリア教育で学んだことについてまとめ	
事前・事後学習	[事前]　進路に関して自分の中で考えまとめてくる。 [事後]　学んだ内容を自分なりに整理し、自分の進路に生かすためにどのようにしたらよいか考える。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して危機、疑問点は主体的に質問し解決をしている、与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の意見を述べてい。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	進路活動報告書、新聞の活用、各5点ずつで6つ以上進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめられてあり、自分の考えや感想を述べている。
試験	40%	学期末試験において一定の点数を取っている。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、購入済み）		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出締め切りを守り必ず低提出すること。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2019
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習II（ビジネスデザインフィールド卒業研究） Career Seminar II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（特になし。）	ビジネスデザインフィールドの学生であること
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
川副令		講義棟 2F	初回授業で説明する。	授業中に指示します
授業の概要				
自己を生かす職業に就くために必要な知識、またその職業を介してキャリアアップしていく上で必要となる知識や技術のほか、社会人一般に望まれる基本的な態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑤短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークのほか、グループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。課題はキャリア形成や職場での関係構築のために有用なものを用意する。自己を振り返る機会と捉えて、自分の気づきや考えを他人に伝わりやすい簡潔な言葉で表現するように心掛けるようにして欲しい。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにすること。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)ビジネスマナーとビジネス文書作成スキルを修得し、就職活動を自主的かつ円滑に行うことができる。 以上により、就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 就職活動報告 夏季休暇活動報告			
第2回目	読書レポートその2 発表（前半）			
第3回目	読書レポートその2 発表（後半）			
第4回目	読書レポート講評 ビジネススキル1：新聞の読み方			
第5回目	個別ワーク1：新聞記事の要約			
第6回目	個別ワーク1：新聞記事の要約			

第7回目	グループワーク 1：サノタンの魅力をUPする方法	
第8回目	ビジネススキル 2：図表の読み取り	
第9回目	個別ワーク 2：図表の作成	
第10回目	ビジネスEメール作文練習 1：依頼	
第11回目	ビジネスEメール作文練習 2：御礼、お詫び	
第12回目	グループワーク 2：読書レポートの改善方法	
第13回目	読書レポートその3 発表（前半）	
第14回目	読書レポートその3 発表（後半）	
第15回目	読書レポート講評	
事前・事後学習	【事前】与えられた課題に取り組むこと。特に発表者はしっかりと準備をすること。【事後】インターネットや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	60%	（受講態度3点＋出席点1点）×15回。受講態度は、課題に取り組んでいるか、授業に積極的に参加しているか、によって評価する。やむを得ない事情で欠席した者には代替の課題を与える。
レポート	40%	読書レポート×2。基本的な作文の巧拙（文法、語彙、構成、推敲の度合い等）10点、選んだ書籍の内容紹介の適切さ（内容を正しく理解し、要点を押さえているか）10点。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は必要に応じて授業の中で紹介する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に授業に参加すること。課題を必ず提出すること。その他は初回授業で説明する。		